

京都ワイズメンズクラブ 2014年9月号プリテン(全4頁)

Pをクリックするとそこへジャンプします→ 2P 3P 4P



CLUB OFFICE / KYOTO YMCA : Yanaginobanba, Sanjo, Nakagyo-ku, Kyoto 604-8083 Japan Phone(075)231-4388 http://www.kyotoys.com/

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE SERVICE CLUB TO THE YMCATHE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO

2014, 9

67th

CHARTERED 1947

Bulletin
NO.802

2014~2015年度 主題

国際会長(IP) Isaac Palathinkal(アイザック パラシンカル) インド

Theme "Talk Less, Do More" 主題『言葉より行動を』

Slogan "Do it Now" 標語「今すぐやろう！」

アジア地域会長(AP) Yaz Okano(岡野 泰和) 大阪土佐堀

Theme "Start Future Now" 主題『未来を始めよう、今すぐに』

Slogan "One Asia One World" 標語「ひとつのアジア、世界はひとつ」

西日本区理事(RD) 松本 武彦(大阪西)

主題『響き合い、ともに歩む "To walk together, echoing each other"』

スローガン 「-ごろ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく-」

京都都部長(DG) 畑本 誠(京都トゥービー)

主題『行雲流水』 "Be Y's men"

強調月間

Menette の月

会長	多賀 久貴
副会長	西村 博一
書記	田中 孝明
会計	石若 義雄 三保 俊幸 津村健太郎 合田 太一

今月の聖句

サムエルは答えた。「どうぞお話ください。僕は聞いております。」

サムエル記上 3 : 11



コミュニケーションで大切なのは、人の話を聞くことです。これがなかなか難しいのです。人と話をしながら、すぐに自分のこと…考え方や、経験談や、自慢話…を口にしてしまいます。話すことは多く、聞くことはとても少ないことを反省します。神様とのコミュニケーションも同じ事です。お祈りは、自分の願い事や心の思いを、神様に一方的に話しかけることだけではありません。神様からの語りかけにじっくりと耳を傾ける事も、お祈りの大切な側面です。毎日、短時間でも、心を静め、神様が今、自分に何を語ってくださっているかに、思いを馳せたいものです。そのようなお祈りから、新しい道が開けてくると思います。

日本聖公会 京都聖マリア教会 司祭 ミカエル 藤原健久

京都クラブ第67代会長 多賀 久貴 主題
『レッツ・ビギン』 “～明日の為に今始めよう～”

創立125周年からの新しい出発

今年は京都YMCAが生まれて125年目の年になる。200年300年は当たり前という京都では、125という数字は小さくもあり、しかしとても大きな数である。先輩たちが営々と努力された結果が、積もり積もって125の数字として残されているからである。

私たちには、節目の時ということで大きな事業や記念になる事業をしようと決断することがままあるが、長い月日の積み重ねだと考えると、毎日毎日が歴史を記念する日として過ごしていきたいものである。

125年前というと1889年（明治22年）で、創立当時のことは記念誌などで紹介されているが、創設者たちの努力は想像を絶するものだった。当時の社会情勢などは肌で感じることができないので、ついで「昔はよかったです」「今は大変な時期だと」過去のすべてを良いものと解釈して、事実を捻じ曲げ美化してしまい勝ちである。しかし何時の時代にあっても、生みの苦しみは並大抵のものではなく、決して「良い時代」「大変でない時代」だったから出来たわけでは決してないだろう。

2015年4月にYMCAの名前が舞鶴の地に掲げられる。新しい事業である舞鶴YMCA国際福祉専門学校が、2015年に開校する予定だが、この事業が急に決まったのではなく、またYMCAの名前だけで決まったのでもない。これまでの3年間、いや125年に及ぶ京都YMCAの努力が認められ、実績が評価されたことにより、太くて大きい新しい橋が架かろうとしているのだ。

しかしハコモノとしての新しい橋が架けられだけで、これでよいとはならない。ヒトがモノがそしてココロが往来する橋にならなければいけない。今までの評価に甘えることなく、実践の場と

なり、新たな実績を創っていく必要がある。これからが本当の苦難と努力の始まりがある。

建物は舞鶴市から提供されるが運営は京都YMCA学園が担うこととなる。舞鶴の地で始まる専門学校は、介護福祉科と国際観光科である。介護福祉科は、2020年問題を探して領域は広がってきていている。国際観光科は、舞鶴市が、国内はもとより海外からの観光客も対象にした観光都市を目指していることもあり地元でも大きな期待が寄せられている。

しかし、専門学校は大学との違いが大きく、本当に学生が集まるだろうか心配がある。特に学生たちにとって、国際観光科は何を学ぶところか、どのような就職先があるのか不安が募ることと思う。卒業生が目指す就職先は市内ではまだ十分なものではないと思われるが、彼らが働く場所を紹介することなどもYMCAにとってはこれから課題となる。YMCAの実績を検証できるのは、卒業生を送りだした2017年の4月以降と言える。

現在工事中の京都総貫道は2015年4月の開校時には全線が繋がり、京都と舞鶴は1時間半で結ばれることになる。時間的には大変近くなる。私たちはそれまで何をすることができるのか。舞鶴YMCA学園を広報し、学生を送り込むことも大切なことであるが、私たちY'sメンバーにとって何ができるか、何が求められているかを考え、YMCAと共に新しい橋を渡らなければならない。

新しい試練が待っている。そして、舞鶴だけでなく福知山・宮津など京都府北部地域にYMCAの輪を広げることにつながる支援を日々続けていきたいものである。

8月例会出席者及び出席率 在籍者30名
例会出席者27名 ゲスト11名 ビジター0名
マークアップ2名 8月出席率→96.7%
7月出席率マークアップ後確定→100%

ニコニコ
8月分
累計
¥4,000円
¥18,000円

クラブ内ファン
(ボーテファンドを除く)
累計
円

BF現金ポイント
累計
0pt

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

1

Pをクリックするとそこへジャンプします→ 1P 3P 4P



8月1日(金)

彦根シャトーワイズメンズクラブ・花火大会例会



猛暑がつづく8月1日(金)、彦根シャトーワイズメンズクラブの例会に京都クラブから古賀、高井、田中(孝)、三井、横山の各ワイズとお馴染みの並木さんとの7名で参加しました。

会場はJR彦根駅近くのグランドデューカホテルの6階・屋上ビヤガーデンです。午後6時半、安澤 勝会長のご挨拶と乾杯のご発声でスタート。ビュッフェスタイルの料理とビール・焼酎などが飲み食べ放題です。



今日の目玉は2014彦根大花火大会ですが、始まるまでにしっかり腹ごしらえと交流を深めます。故正村公一氏の奥様も来場され、皆さんにご挨拶される一幕もありました。

午後7時30分から彦根城後方のひわ湖岸でスターマインなど6000発の花火が打ち上げられ、歓声の連続です。鈴木康夫ドライバー委員長や河口裕亮ワイズ他、皆さんのご配慮で楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



8月3日(日)

8月は納涼・仲間づくり例会

新しい仲間を迎えて大いに燃えたサマーパーティ



8月3日(日)、「仲間づくり例会」と題して行われた8月例会は、多賀会長の主題「レッツ・ビギン」“～明日の為に今始めよう～”の意気込みがSummer Partyの形で実現された。私たちの活動をより一層活性化しようと心を燃やしている人が多い京都クラブで、新しい仲間と生ビールを飲みながら、京都クラブの仲間づくりを楽しもうと企画された例会である。そこで30代、40代の元気な人たちが来てくれて、今日は総勢35名になった。仲間が連れてきたゲスト7名とともに、大いに燃えあがり大いに楽しんだ。仲間が多いとクラブは明るくなり活気が出る。



村上ワイズは食前スピーチで、ワイズは気のいい人たちの集まりであるから、気さくに楽しんでほしいと語る。そして、EMCの小嶋委員長が歓迎挨拶の中で、私たちはYMCAの活動を支援しながら新しい自分を創り、仲間同士でお互いを理解しつつ自らを向上させ、クラブ活動を通じて知らず知らずのうちに自ら楽しむことを学んでいる。仲間と働き、仲間と語ることがClub Lifeの楽しみであり、だからこそ新しい仲間が増えるのが楽しみです、と語った。その言葉を証明するように、食事が始まると若者は若者らしく元気にビアグラスを差し出し、ベテランはベテランらしく丁寧に言葉を広げて、新しい仲間としばしの歓談を楽しんでいる。



アトラクションでは、マジックショーの山下翔吾とジャグリングショーの渡辺あきらの二人が情熱をもって舞台とテーブルの上で皆さんを笑わせる。トランプが次々と繰り返されると、なぜ、みんなにうまく、同じ番号が出てきて当たるのかと不思議がる。それがマジックなのか? にぎやかな笑いが広がり大いに楽しんだ。ゲストの皆さんにも心から楽しんでいただけたと思えるような8月例会だった。



2

Pをクリックするとそこへジャンプします→ 1P 2P 4P

▼ 京都YMCA創立125周年記念事業・日台ユース座談会

8月5日(火)

日本・台湾のユースに聞く～今の私は…

京都Yの創立125周年記念イベントの一つとして、8月5日に日本と台湾のユースを迎えて座談会が開かれた。出席者は、総合司会に阿部主事とファシリテーターに遠藤国際協力専門委員。台湾ユースは夏季研修に来日中の台北Yスタッフと、京都在住の主婦1人に、日本語科現役・OBの学生3人で、全てが女性。日本側は京都Yの国際ボランティアや介護福祉専門学校生、京大と府立医大の学Yメンバーの学生5人で、うち男性が4人の構成。

座談会は、あらかじめ用意された「今幸せですか?」「日本の国が好きですか?」など10の質問に、各自が○×で答え、それに基づいて話し合いが進められた。興味深かったのは、「家族と友人とどちらが大事?」という質問に対する回答ぶりだった。台湾ユースは“家族=自分を含めた言葉・家族とは切り離せない自分”が常識らしく、その点から質問の意味が通じなかったよう

で全員が“友人は大事にすべきもの”に決まっていると答えていた。対する日本側は“自分とそれ以外の家族”と考えるのが普通なので、双方の考え方の相違がはっきり読み取れた。

また「男女どちらがよく働くか?」という質問に対しても、台湾ユースは仕事+家事+育児は男女双方に与えられた労働と考えているようで、全員が“男女とも同じように働く”と答えていた。これに対して日本側は、男女の働きを区別していて“家事などがあり女性のほうがよく働く”という答えが

多かった。

ユースを通じて日台の文化・社会の違いや、考え方の違いがよく出ていて、興味深い座談会だったが、惜しむらくは台湾ユースに男性がいなかったこと、もう少し時間が欲しかったことだった。それにしても、こんな座談会はYMCAならではのものであり、また是非やって欲しいプログラムである。



8月23日(土)

CHARM多文化キャンプ in リトセンの夕食支援



2000年に関西のエイズ治療拠点病院に複数の外国籍エイズ患者が運び込まれました。いずれも医療保険が無く、エイズを発症して初めてHIV感染を知った人たちでした。医療と福祉のアクセスから外れている外国籍のHIV陽性の人のニーズに対応するために医師やカウンセラーが中心となって2002年に大阪で設立された市民団体がCHARMです。

CHARMは大阪府、大阪市、厚生労働省からの事業委託費を受けて、日本に暮らすすべての人が健康に過ごせる社会をめざし、言語、在留資格、制度、偏見など数々の壁を抱える外国籍住民など社会保障につながりにくい人々を支援しています。そしてHIV陽性の人とその家族などの周囲の人を支援し、保健所などの公的機関や民間組織と協力して外国籍住民を含むHIV陽性の人が保健や医療サービスにつながりやすい環境をつくる運動をしているのです。

そんなCHARMが年に一度、全国規模で女性交流会を開催するにあたって相談を受けた京都クラブがYMCAを紹介し、リトセンを使って一泊二日の「多文化キャンプ」を始められたのが7年前でした。CHARMの活動に共感した私たちが提供する夕食支援を楽しみに、毎年開催されて今年で8回目。リトリートセンターの縁に囲まれての楽しい流しソーメンや美味しい網焼きステーキなどの夕食が評判になり、口コミで参加者が年々増加しているそうで、中学生になっても喜んで参加を希望する子供たちや、今回北海道からはあるばる初参加された方もおられたそうです。



8月24日(日)

毎度おおきに！ 125周年記念事業・CS京野菜マルシェ

京野菜販売も今年1月に始まり、6回目になります。野菜を買ってくださるお客様の声を一度聞きたくて、皆さんに話かけてみました。

「これから（某有名）八百屋に行きます」との声が多く「でもここで貢います」とか「八百屋の帰りですけど、この万願寺がいいから」と話してくださいり、別れ際には「次いつですか」と聞いてくれました。大阪から来たというご夫婦は「よく一保堂に来ますので」と、いくつも買って下さいました。加茂ナスを買って素早く立ち去る若い男性にはインタビューの隙がありません、小松菜を買ってくれた女性は「餃子に刻んでいれると美味しいですよ」と逆にアドバイスをもらいました。隣の着物屋さんの奥様も開店早々のお客さんです。昼過ぎになって普段着の女性に「ありがとうございます。初めてですか？」と声をかけると「近くにいます、いつも買ってますけど～」と笑顔で返されました。

3

まい慌てて「失礼しました、毎度ありがとうございます」

今日は京丹波の農園グループからも出店があり4店舗、売り手も「肉厚で美味しい万願寺!」「今朝採ってきた野菜です!」と声を上げて懸命です。ミキサーで作る、ほうれん草入りの果物ジュースを、お客様に熱く語る生産者。ある女性客から「この九条ねぎ、もう少し小さい方がいいわ」と言われ、ひとしきり議論が続く場面も…。そうです、京野菜マルシェの店先では、こんなやり取りもお持ち帰り頂けます。みなさん一度、覗きに来て下さい。



設営は佐々木、西村、日丸、三保、三井、撤収は田中(俊)、三保、三井の各ワゴン。野菜を買いに加藤、杉本、廣島、津村夫妻、新井、田中(孝)の各ワゴンに来て頂きました。後片付けはあいにく土砂降りの中になりましたが、農園の方も手伝って下さり無事閉店となりました。
「毎度ありがとうございます」

Pをクリックするとそこへジャンプします→ 1P 2P 3P

案 内 板

(9月の予定)	
2日(火)役員会	19:30～三条Y
6日(土)日本語科異文化交流会支援	14:00～リトリート・センター集合
7日(日)リトセン秋期準備ワーク	9:30～リトリート・センター
9日(火)例会(京都部部長公式訪問)	19:00～H日航プリンセス京都
14日(日)京都部部会	16:00～ANAクラウンプラザ・京都
28日(日)京野菜マルシェ	10:00～三条Y駐輪場

YMCA 1. 後期募集のお知らせ
グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

NEWS 後期募集がはじまります。

ご興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。お問い合わせ、お申し込みともに下記まで。
グローバルアウトドアクラブ 9月5日(金)午前10時075-231-4388
スイミング・体育 9月1日(月)午前10時075-255-4709

2. 第4回 AIDS文化フォーラムin京都 ブレイブイベント

「トークパック」沈黙を破る女たち 上映会

2014年9月22日(月) 同志社大学 寒梅館 クローバーホール
A.上映会 14:00～16:00 & カフェトークパック 16:00～17:00
ホスト 同志社大学社会学部 准教授 野村裕美
ゲスト 安東病院 精神保健福祉士・バサールカフュコディネーター 松浦千恵
B.上映会 18:30～20:30
入場料:一般／500円 学生／無料(学生証を提示してください)
事務局:京都YMCA 電話(075)231-4388

3. 第4回 AIDS文化フォーラムin京都

～エイズを知ろう エイズで学ぼうIV～

日時・2014年10月4日(土)12:30～18:30、5日(日)10:00～17:15(予定)
場所:同志社大学 新町キャンパス 寺真館
内容:若者／文化／性別者／医療／教育／セクシャリティーの多様性を理解するなど様々な視点からの講演やワークショップ・展示など多様なプログラムを通して、性の多様性を知ることからHIVを理解していくこと、HIV/AIDSが決して他人ごとではないことを学びます。
入場料:無料
主催:AIDS文化フォーラム in 京都運営委員会
共催:京都府、京都市
事務局:京都YMCA 電話(075)231-4388

4. ボランティアセミナーのご案内

①ちょっとボランティア 視覚障がい者サポートの講習会
障がい者や高齢者が街に出かけようすると、まだ歩道に段差があったり、自転車などが放置されたり、電柱が飛び出していたり…と思われる事故にあったりして支援が多いことがあります。
障がい者も高齢者も子どもも、だれもが地域の中で一緒に生活をし、社会参加をする「ノーマライゼーション」の考え方が最近では多くの人に受け入れられています。スロープや点字ブロックなど、いろいろな設備を整え、だれにでも行動しやすい環境を作ることは大切です。しかし、そういうハード面の完備を待つよりも、周囲の人気がさりげなく声をかけ必要な援助をすることで、自由に行動できるようになる人がいっぱいいるのです。今回は、京都YMCA国際福祉専門学校の講師である松永さんに、当事者の立場から視覚障がいについて、また、望ましいサポートについて語っていただきます。

講師 松永信也(まつなが)のぶや)氏

1957年 府児島県阿久根市出身、現在(公社法)京都府視覚障害者協会副会長、京都福祉専門学校、京都YMCA国際福祉専門学校非常勤講師。

京都新聞コラム、「見えない世界を生きる」2009年10月～2010年7月連載。
日時 9月27日(土)午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA(三条柳馬場)
定員 30名(申込順) 参加費 300円

②がん患者さんとそのご家族へ

第92回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱いている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日 時 9月20日(土)午後7時～9時

場 所 京都YMCA(三条柳馬場)

参 加 費 お一人 300円

①②ともお申込は京都YMCA(075)231-4388 vb@kyotoymca.or.jp

京都クラブのプリテンは、コスト削減のためパソコンで編集し、クラブ所有のレーザープリンターで450部手作りで作製していましたが、最近印刷をネット印刷に変更することによって、さらに大きくコストを下げるに成功しました(年間予算10万円)。このプリテンは京都クラブのホームページ <http://www.kyotoys.com/> では月初にご覧いただけます。このプリテンに関するご質問、ご意見、ご感想などを Email : tanupon@mbox.kyoto-inet.or.jp プリテン編集長・三井哲次までお寄せください。お待ちしています。

(10月の予定)

4日(土)エイズ文化フォーラム	12:30～同志社新町キャンバス
5日(日)エイズ文化フォーラム	10:00～同志社尋真館
7日(火)役員会	19:30～三条Y
14日(火)例会	19:00～H日航プリンセス京都
18日(土)じゃかいも大作戦	詳細未定
26日(日)京野菜マルシェ	10:00～三条Y駐輪場

YMCA 役員会報告

2014-2015年度 8月役員会

8月5日(火)19:30～ 於 三条YMCA

出席役員 : 13名 欠席役員 : 6名

<議 案>

1. 京都クラブとして独自で行う ウィズデーのプログラムについて
地域奉仕・環境委員会が京野菜マルシェ開催で企画する
2. 大阪、神戸、京都三クラブ合同例会を正式に受諾、打ち合わせが
8/12大阪キヤッセルH(大阪クラブ例会後)にて
<各委員会報告> 委員会日程は別紙

Y サ:祇園祭夜店の収支報告決定後、YMCAへの寄付金額を委員会で決定する

9/6(土)日本語科リトセン異文化交流会サポート

9/7(日)リセンワーク

8/14 エルサレムコーラス24枚販売

125周年募金の案を作成予定

地域奉仕・環境:8/23(土)チャームリトセン多文化キャンプ支援

8/24(日)京野菜マルシェ9時集合設営10時開店

先月の懇談会で参加希望農家多数につきレイアウト変更

ウィズデーの企画は地域奉仕委員会で担当してみる

ドライバー:9月例会に部長公式訪問(3名ゲスト)

司会:健谷、スピーチ 古賀 質問タイムを設ける

今季はEMC仲間創り例会を主とする

EMC :8月例会は目標ゲスト5名のところ8名来て頂いた

今後のフォローを工夫する

3月例会に向けて9月に新規プリテン発送対象者を各自2名提出を依頼する

広 報 :ホームページリニューアル

ファンド:お茶ファンド9名参加

とう もろこし 昨年より送料高騰の影響等で値上げ 10本3800円
20本4700円

プリテン:前回のゲストにはアンケートをお願いしている

会員名で礼状を書き3ヶ月プリテンを発送する

文献保存:前期分の整理終了

次期京都部:2015年の京都部会チラシ第1報印刷決定

9/14日部会の受付にて配布 西日本区に右若書記確認

*次回の役員会:9月2日(火)19:30～21:00 三条YMCA

<緊急速報>



8月23日(土)24日(日)両日、福知山豪雨災害支援ボランティアを載せた京都YMCAのバスが早朝から福知山に向かいました。石若コメットも参加してくれました。

物語 独白

京都ワイスメンズクラブが、ホンモノの京野菜に取り組む農業を支援し、京都YMCAの発達障がい児プログラムの力になり、街の人たちに京野菜の素晴らしさを知って貰いつつYMCAの活動にも理解して貢献し始めた「京野菜マルシェ」。

今日は、京北町は急なトラブルがあったそうで参加出来なかったものの、京丹波町から新しい仲間が加わった。天気が今一つだったが、その暑天をはねのけるように売り上げは順調。京丹波の若者たち(これが何とイケメン揃い!)の、「お早うございます」「今朝僕らが取った取り立ての無農薬野菜ですっ」という元気で爽やかな呼び声が三条通りに響いた。今日の目玉商品は、京野菜中の京野菜「黄茂茄子」。まる丸で艶があり、しかも直売りなので安い。

京都の街のおばちゃんは面白い。以前に苟が出たときも、「寺町のあの店に行つてみいな、なんぼ取られるか、こんな安うてエエ苟初めてや!」。今日は、「鳥丸のあの店へ行つてうたんやけど、こんな綺麗な黄茂茄子やったらどんだけ高い値付けよるか、ここで買うてもあうの店へ行くのんは止めた!」。

こんな声を聞くのは本当に嬉しい。

来月も第4日曜の28日の予定だが、この時期採れる野菜があるかなあ…。

4

Pをクリックするとそこへジャンプします→ 1P 2P 3P 4P

